

かたちを見る、かたちを読む

2024 年 11 月 1 日 (金)
13:30~16:30 (13:00 受付開始)

データベースにおける検索とキーワードの関係
について

小山田 智寛 (東京文化財研究所文化財情報資料部 主任研究員)

AI 時代におけるデジタルアーカイブ
—文化の保存・継承・活用に向けて

逢坂 裕紀子 (国際大学 GLOCOM 研究員)

受講無料
要 申 込
抽 選 制
詳細は裏面



全鎳彌 (号: 潤松 1906 ~ 1962) と収集品
© 潤松美術文化財団 (韓国)



《三彩貼花文龍耳瓶》、高 47.4 cm、中国・唐、
横河民輔氏寄贈 東京国立博物館、重要文化財

2024 年 11 月 2 日 (土)
13:30~16:30 (13:00 受付開始)

韓国陶磁鑑賞史

—韓国におけるコレクションの形成

田代 裕一郎 (東京文化財研究所文化財情報資料部 研究員)

中国陶磁鑑賞史

—近代のわが国における中国陶磁鑑賞の受容と変遷

川島 公之 (株式会社蕪山龍泉堂代表取締役、東京美術商協同組合理事長)



東京文化財研究所

Tokyo National Research Institute for Cultural Properties

かたちを見る、かたちを読む

造形美術は、時や場所、作者等、さまざまな要素が絡みあい、ひとつのかたちとして結実しています。それらの要素をひもとき、あらためてそのかたちを見つめ直す作業を繰り返しながら、わたしたちはそこに込められたものをより深く、正確に読むことになるのではないのでしょうか。このレクチャーは、かたちあるものに向き合う研究者による、新たな知見や成果をご紹介しますものです。

2024年11月1日（金）

13:30～16:30（13:00 受付開始）
於 東京文化財研究所・地下セミナー室

データベースにおける検索とキーワードの関係について

小山田 智寛（東京文化財研究所文化財情報資料部 主任研究員）

データベースには、情報の保存と検索という二つの機能が期待されます。しかし、何かを思い出せずに煩悶するように、検索結果を前に釈然としない思いを抱くことがあります。一般的に検索とは検索語と検索対象が持つキーワードの関係によって成立するものですが、これは検索対象が言語化されているということに他なりません。そこで改めて文化財の名称を頼りに、対象を言語化することと検索について考えたいと思います。

AI時代におけるデジタルアーカイブ

—文化の保存・継承・活用に向けて

逢坂 裕紀子（国際大学 GLOCOM 研究員）

近年、生成 AI をはじめとする AI 技術が急速に進化し、私たちの生活や仕事に大きな変化をもたらしています。AI は膨大なデータを学習し、人間の創作や業務を助ける一方で、偽・誤情報や権利侵害の懸念もあります。これらの新技術が、文化財や歴史的資料をデジタル方式で保存・公開する「デジタルアーカイブ」にどのような影響を与えるかについて、技術的・社会的な観点から考察したいと思います。

2024年11月2日（土）

13:30～16:30（13:00 受付開始）
於 東京文化財研究所・地下セミナー室

韓国陶磁鑑賞史

—韓国におけるコレクションの形成

田代 裕一郎（東京文化財研究所文化財情報資料部 研究員）

近代に入り、茶道具とは別に、鑑賞美術として高麗青磁や朝鮮白磁が高く評価されるようになりました。朝鮮半島でも古陶磁を取引する美術市場が生まれ、次第に朝鮮半島の人々も市場に参入し、コレクションを形成するようになります。彼らは、朝鮮時代の士大夫文化に対する憧憬を背景に、日本人とは異なる観点で古陶磁を評価し、収集しました。本発表では彼らの視線を分析し、その認識とコレクションが、1945年の解放後、韓国（大韓民国）にどのように継承・展開するのか考察するものです。

中国陶磁鑑賞史

—近代のわが国における中国陶磁鑑賞の受容と変遷

川島 公之（（株）蘭山龍泉堂代表取締役、東京美術商協同組合理事長）

茶の湯などの空間、寺院の荘厳具などで用いられた中国陶磁は、近代に入り「鑑賞美術」として受容されるようになります。その背景としてはいくつかの事象が契機となっています。義和団事件や辛亥革命を要因とした宮中伝世品。鉄道敷設工事を要因とした出土品。こうした美術作品が、20世紀初頭から堰を切ったように市場に登場することで中国美術が世界でもてはやされます。それはわが国にも波及し、「鑑賞陶磁」という新しい蒐集分野が確立され、名コレクションが形成されました。本発表はその流れを考察するものです。

受講方法

9月17日より
募集を
開始します

受講には事前申込が必要です（抽選制）。下記Eメール、ファックス、往復はがきのいずれかで、東京文化財研究所文化財情報資料部あてに、お申し込みください。いずれの場合も、必ず表題に（メールの場合は件名に）「オープンレクチャー受講申込」を明記の上、参加希望日、ご住所・ご氏名（ふりがな）・電話番号・ファックスでお申し込みの方はファックス番号をお書き添えください。

- 定員：100名（応募者多数の場合は抽選）
- 受講料：無料
- 申し込み期限：2024年10月15日（火）
（当選者の発表は受講票の発送をもって代えさせていただきます）
- 申し込み・問い合わせ先：

東京文化財研究所 文化財情報資料部

〒110-8713 東京都台東区上野公園13-43

E-mail : kjenkyukai_tobunken@nich.go.jp

ファックス 03-3823-2371

電話 03-3823-4829（土日祝日を除く 10:00-17:00）

